

マルチチャンネルスタイル 広がるビジネスチャンスの魅力
— 役割と新しい切り口のビジネス実証例 —

TDA西地区第1回の企画事業として6月25日（土）パネルディスカッション・セミナー が宝塚造形芸術大学大学院梅田キャンパス（サテライト）で開催されました。



写真左から
仁井佳代子氏
近藤仁史氏
岡本正大氏
河合義徳氏
上田バロン氏

コーディネーター：岡本正大氏 TDA理事

パネラー：

- 河合義徳氏 （有）バックステージ 代表取締役
大阪市内西区新町・京町堀界隈の不動産オーナーへ、ショップ誘致・住居再生・オフィス再生などによる有効活用を企画。誘致企業に対し人材育成のコンサルティング等を行うほか、各種デザイナーの事業構築などのマネジメント業務を受託している。
- 上田バロン氏 FR/LAME MONGER? 代表
デザイン制作会社をへて現事務所を運営。フリーでイラストやデザインで、出版、広告、ウェブ、TV、グッズなどの分野で活躍。最近では神戸大学教授と組んだマーケティング絵本が話題に。Culaで販売のボンサックbagのテキスタイルデザインも手がける。
- 近藤仁史氏 TDA理事補佐 ルーリオ合資会社 代表
97年テキスタイルデザイナーとして独立。
04年Cula Project発足。
今年「anka」ブランドを立ち上げる。
- 仁井佳代子氏 TDA理事補佐 ルーリオ合資会社 ディレクター
アスワン株式会社後Cula Projectに参画、エディターとしてプロジェクトの運営にあたる。

■概要：Cula Project に関わるデザイナー・マネージャー・プロデューサー・エディターのトークショー



会場風景

Cula Projectとは「生産背景とクリエイションが上手く結びつき、従来の既成概念に捕われない着眼点や、新しい発見を商品化出来る仕組み」として、2004年に近藤代表が中心となり発足。大阪市内でプリントテキスタイル関連の商品を中心とした、クリエイティブショップを運営する。織研新聞別刷り「アッシュ」でも紹介されるなど、情報発信基地として注目されている。Culaの設立から運営にあたり、企画・生産・販売のシステムを構築すべく活動している人たちをパネラーに迎え、現状の活動状況と今後の可能性が語られた。実に多くのジャンルのクリエイターがこのプロジェクトに参画している。それぞれの立場から、人と人との関わりの重要性、仕事につなげるためのコミュニケーション能力のあり方、ネットワークを通して成長する自己改革などのトークが会場を沸かせた。ネットワークの重要性とテキスタイルデザインの可能性を強烈に印象付けたセミナーであった。セミナー終了後会場を移して交流会が開かれ、若いクリエイターたちの新たな交流が芽生え頼もしさを感じるしだいである。

今回の異業種交流会は、テーマにあるように、様々なライフスタイル【マルチチャンネル・スタイルリング=衣・食・住・趣（個の感性）】に即応する仕事のありかたを模索しようとするものです。異業（行）種・異能（脳）種の人達とのコラボレーションによるネットワークビジネスの一つのケーススタディーとして、近藤氏のクラ・プロジェクトを紹介しました。異業種交流会の主旨は、セミナーで異業種の人達の話しを聞き、右脳を刺激する事も大切ですが本当はその後のパーティーで、いかにパネラーや参加した多くの人達とコミュニケーションをとれるかが真の目的です。そういう意味でパーティーは絶えず「増殖の場」として考える事が重要だと思います。

（岡本 正大）

今回のセミナーではお互いがそれぞれの役割を尊重し、自身の能力を十二分に発揮することが出来る仕組みを目指す【Cula project】を中心に、他者（社）との関わり方や問題点、今後の発展性と魅力をそれぞれの立場でお話しする、パネルディスカッションとなりました。企業に所属していてもフリーランスの立場に有っても、必要なコミュニケーション能力の重要性を感じ取って貰えればと思います。コミュニケーションを有効に活用する事で手にする素敵な人間関係の繋がりを活かし、目標をクリアして行く、そんな広がりがある今の経済には必要では無いでしょうか。セミナー後のパーティーにも多くの方が参加して下さいた事は、そんな大切さを感じ取って貰えたのではと主催者として嬉しく思っています。是非、今回のセミナーをきっかけに今後も色んな集まりや会にも興味を持って参加し、